

東広島市国際交流フットサルリーグ Futsal League

第2回

Another Talk

・主催

東広島市フットサル国際交流会（東広島商工会議所、広島日伯協会、広島大学国際交流フットサル同好会）

・運営

東広島市国際交流フットサルリーグ運営委員会

・特別協賛

東広島マツダ会

・協賛

東広島防犯連合会、朝日カルピスビバレッジ株式会社

・後援

東広島市教育委員会、広島大学、東広島商工会議所、JICA 中国、広島国際センター

・場所

ひろしま国際プラザ体育館およびグラウンド

LIFE

=League of international Futsal Exchange

2008年に発足され現在東南アジアを中心とした32カ国、男子22チーム、女子5チームの計27チームで行っている。「全員参加型運営のリーグ」を目指し活動を行っている。

~Another Talk~



3代目運営委員長
加藤 慧太
出身高校 札幌東高校



4代目運営委員長
飯田 真彩
出身高校 大分上野丘高校



日程：毎月日曜日：月に1度
時間：12時～18時
場所：ひろしま国際プラザ

飛翔(以下、飛)今日はよろしくお願ひします

加藤・飯田「お願ひします。」

リーグの紹介

飛 リーグの目的は何ですか？

飯 「東広島地域における国際交流の促進や多文化共生社会の実現、外国人や青少年の健全育成をはかり、地域の安全、安心を推進することです。」

飛 フットサルではなく交流がメイン？

加 「そうですね。東広島リーグは2013年4月から6年目に突入します。他にも広島県内の呉市・広島市、福山市で国際フットサルリーグが開催されています。」

飛 他のリーグの目的も同じ？

加 「はい。ほかの地域も外国人と交流しよう、居場所を作ろうというのが目的です。東広島リーグでは2013年2月現在でのべ32の国と地域のかたに参加していただいています。」

代表になろうと思った理由

加 「もともとイベントなどの企画に興味があり、僕自身、社会人や外国人との交流をする機会を求めています。そんな状況でこのフットサルリーグを知って、運営

の手伝いをしていく内にやってみたいと思ったからです。」

飯 「このフットサルリーグに参加していく中で、年代、性別、国籍を超えての交流が

出来るこのリーグの形がとても気に入りました。自分もこのリーグの運営に関わっていききたい、そう思うようになりました。今、男性リーグに比べ女性リーグはチーム数もまだまだ少ないし、試合形式も男性が試合に参加したりと、正式に決まっています。自分が運営に関わり女性リーグをもっと活性化させたいと思います。」

飛 運営をやったよかったですか？

加 「普通に大学生を送っているだけだと大学生との交流がメインになるけど、このリーグには社会人であったり、幅広い年齢層の人たちが参加している。だから子供から大人まで、実際にプレーをしている選手だけではなく、市議会議員、県議会議員、商工会議所の方々などにもお世話になっており、普通に学生生活を送っていたら話を聞けない人たちの話を聞ける。留学生ではなく仕事をするために日本に来ている外国人研究生たちとも話せる。言葉が通じなくてもボールさえあれば、心を通わせることができる」とい

うサッカーやフットサルの素晴らしさを改めて感じました。」

飯 「いろんな人たちと交流ができる。社会に出ている人たちもたくさんいるので、

社会にでてからの話、中には他リーグや大会の情報も得られるので、活動の幅が広がりました生活が送れることです。」

飛 他のリーグにも参加してみたい？

飯 「はい。代表になったばかりで、まだまだ知らないことが多い。だからいろんな大会を見ていいものを吸収していききたいと思います。」

加 「もう参加しています(笑)。代表を退任して今でも、リーグで出会った人々とリーグの外での関係が続いていて他チームが運営している大会などに招待していただいています。」

運営にあたって大変なこと

飯 「今のリーグのひとつの目標として【全員参加型運営のリーグ】というものがあるんです。これは、コートづくりから最後の片付けまで参加者全員でやろう！というものです。最近はこの目標も少しづつ達成されつつあります。これからは【全員参加型運営のリーグ】をめざしていきたい。」

加 「現在、毎月の参加者は100人を超え

ています。それだけの人数をまとめて、運営していけるようになるまでには時間がかかりました。協賛していただいている企業、施設の方々と連絡をとるのも初めての経験だったので戸惑うことが多々ありました。」

飛 それに対して何をしましたか？

加 「お世話になつている企業等の社会人の人たちに相談して一から学んでいきましました。」

飛 具体的にはどんな事ですか？

加 「開会式の際、来賓の方の挨拶の順番、式の運営の仕方、予算の組み方などを教えていただき、一つずつ勉強していきましました。」

飛 運営にあたって心がけていることは？

加 「参加者に顔を覚えていただき、遠くからでも目立つために毎回同じ黄色い服を着ています。また、交流試合ではゴールを決めた際に全員でハイタッチをするこ

飯

「心がけたいことは、全員の名前を憶えて、試合中に呼び合えるようにしたいです。」



これからの目標

飛 今後どんなリーグにしていきたい？

飯 「外国人研修生や他チームとの交流がまだまだ浅いのでこれから機会をもっと増やし、交流を深めていきたい。もっと女性リーグを活性化していきたいです。」

加 「リーグ発足当初はコートラインは足で線を引いていたり、試合時間はスケジュール通りに進まなかったりしたこと

を考えると、試合環境はかなり改善されてきたと言えます。あとは、外国の文化を紹介する場や、交流の場を設けていきたい。女性リーグの活性化と並んで、ちびっ子リーグも作っていきたい。」

前運営委員長から現運営委員長に一言

加 「運営をやっていく中でいろんな壁にぶつかると思う。その時僕が思ったのは、ひとりじゃ何もできないということ。だからいろんな人に助けていただくことになると思うけど、その時の感謝の気持ちを忘れずにみんなと協力して運営を頑張ってください。」

飯 「はい、頑張ります。」

飛 今日ありがとうございます。

加・飯 「ありがとうございます。」

「東広島市国際交流フットサルリーグ」はこのようにいろいろな国の人たち、いろいろな社会人の人たちとフットサルやサッカーを通じて交流する場です。

また、facebook に活動の写真もアップしてあります。

興味のある方は「東広島市国際交流フットサルリーグ」と検索してください。

楽しく活動する彼らの様子がみられますよ！

写真を見て興味を持った方は下記のアドレスにご連絡ください。

hh.futsal@gmail.com

前々回から始まったこの企画。頑張っている人たちを募集しています。

興味のある方は下記のアドレスまでご連絡お願いします。

hisyo.bukatsu@gmail.com